

平成31年 3月29日

旭川工業高等専門学校長

清水 啓一郎

校舎・明誠寮におけるアスベスト使用に関する今後の経過観測について

校舎及び明誠寮におけるアスベストが含まれた建材が使用されている部屋については、囲い込み工法により飛散防止措置を講じ安全を確保していますが、安全確認のために空気中の繊維状粒子濃度測定を10年間毎年実施してきました。測定結果は別紙のとおりいずれも大気汚染防止法で定める基準値^{*1}を大幅に下回るものであり、測定初年度から現在まで大きな変化がなく、安全が確保されていることから、今後は同濃度測定を3年に一度実施し、測定結果を公表することとします。つきましては、次回の測定は2021年3月に行います。

ただし、今後も安全確認のため、該当箇所については暴露の危険性の有無を目視で確認します。

なお、アスベスト除去工事については以上のような状況につき、建物改修時において実施することとしております。

(問い合わせ先)

旭川工業高等専門学校総務課(55-8118)

*1 特定粉じん発生施設の敷地境界基準(10本/ℓ)

過去10年間の室内における気中アスベスト繊維数濃度の測定結果

単位:f/f₀

測定箇所 \ 測定時期	H21.3	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3
校舎							
電子工学実験室Ⅲ	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
材料化学実験室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
電子工学実験室Ⅱ	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
電気基礎実験室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
材料力学実験室	0.7	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
化学棟ベントハウス	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
電気材料実験室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
非常勤講師室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
分析化学実験室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.7
機械制御実験室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
小会議室	0.9	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
高分子化学実験室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
寄宿舎							
管理棟1階第2棟前廊下	0.8	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
第3棟3203号室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
第2棟食堂	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
第2棟2106号室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
第2棟2210号室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
第2棟2212号室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
第2棟2310号室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
第2棟2312号室	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
アスベスト含有建材不使用室							
ミーティングルーム	1.4	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
図書館書庫	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
定量下限値	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5

測定箇所 \ 測定時期	H28.3	H29.3	H30.3
校舎			
電気応用実験室	1.6	0.9	不検出
機械システム実験室	不検出	不検出	不検出
高速流体実験室	0.7	不検出	不検出
微生物反応実験室	不検出	不検出	不検出
物理化学第一実験室	不検出	不検出	不検出
化学棟ベントハウス	2.2	不検出	0.5
電子工学Ⅰ実験室	1.0	0.7	不検出
2M教室	不検出	不検出	0.6
2E教室	不検出	不検出	不検出
2S教室	不検出	0.5	不検出
小会議室	不検出	-	-
X線分析実験室	-	不検出	不検出
分子工学実験室	0.7	不検出	不検出
寄宿舎			
管理棟1階第2棟前廊下	不検出	不検出	不検出
第3棟2階寮室	不検出	不検出	不検出
第3棟1階廊下	不検出	0.7	0.7
第3棟3階談話室	0.5	不検出	不検出
第2棟1階廊下	不検出	0.9	不検出
第2棟1階脱衣室	不検出	不検出	不検出
第2棟2階談話室	0.5	0.5	不検出
第2棟3階寮室	0.7	不検出	不検出
アスベスト含有建材不使用室			
ミーティングルーム	1.0	0.9	不検出
事務文書庫	不検出	0.7	不検出
定量下限値	0.5	0.5	0.5

※不検出とは測定の結果、定量下限値未満であったことを示す。(定量下限値が年度により異なるのは、分析を依頼した事業者が異なるため、測定方法が異なるため。)

※大気汚染防止法で定める基準値：特定粉じん発生施設の敷地境界基準(10本/ℓ)